

## 2019年度 個人研究実績・成果報告書

2020年 4月 30日

所属・職名	人間社会学部 准教授	氏名	吉田 敦
研究課題	アフリカ地域を中心とした石油資源と開発に関する研究		
研究キーワード	アフリカ、石油、資源、新興産油国	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>2019年度の在外研究員としての派遣事業として、アメリカのカリフォルニア大学アーバイン校 (UCI) のスティーヴン・トピック教授のもとで研究活動をおこなった。トピック教授の研究会への参加、ポモナ・カレッジのミゲル・ティンカー・サラス (Tinker-Salas, Miguel) 教授 (ベネズエラにおける 20 世紀の石油開発の歴史研究)、UCI のヘイディ・ティンスマン (Heidi Tinsman) 教授等と議論することができた。また、派遣期間中は、他の大学に所属する研究者であるポモナ大学のアフリカ研究者ピエール・イングルバート (Englebort Pierre) 教授、チャップマン大学の資源開発研究者トム・ゾエルナー (Tom Zoellner) 教授などとも数回にわたり意見交換することができた。研究成果の一部として、単著を執筆し、現在、出版社へ入稿済み (初校前) である。単著の出版は 2020 年 7 月を目処に進めている。</p> <p>その他、アフリカ ODA に関する論考 (2020 年 9 月)、人間社会学部でのテキストを執筆した。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等 (海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載)</p> <p>公刊には至らなかったが、現在、研究課題に関連した複数本の書籍を執筆の最終段階にある。</p> <p>3. 主な経費</p> <p>研究に必要とされる書籍、およびトナーカートリッジ、コピー用紙等を購入した。</p> <p>4. その他の特筆すべき事項 (表彰、研究資金の受入状況等)</p> <p>基盤研究 (C) : 2019 度～2021 年度、代表、課題名 (アフリカ新興産油国における制度基盤形成プロセスの分析) (19K01529)</p>			
(本文は 1 ページ以内にまとめること)			